

大きな栗の木の下で



No.218

2026.5.1 発行



特集

栗東って、こんなに宝物あったんや。

—市民と議会が語った“観光資源を活かしたまちづくり”— P 2

議案

1月臨時会・3月定例会 P 4

委員会

各常任委員会ピックアップ P 6

代表質問

各会派が施政等について聴きました P 8

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う P 10

栗東って、 こんなに宝物あったんや。

— 市民と議会が語った“観光資源を活かしたまちづくり” —

令和8年1月23日、栗東市立自然体験学習センター「森の未来館」において市内で活動するボランティア団体の皆さまを対象に広聴会を開催しました。

今回は、市内で観光や自然・学習活動を支えるボランティア団体の皆さまと意見交換を行いました。

参加団体

- 栗東市ボランティア観光ガイド協会
- 栗東市国際交流協会
- 自然観察の森ボランティアNVR友の会
- やまのこサポーター



国指定重要文化財、金勝山、旧東海道・旧中山道、そして“馬のまち”。

でも、なぜ広がらない？なぜ伝わらない？
7グループに分かれ、本音で語りました。



▲大宝神社



▲栗東自然観察の森



旧和中散本舗▶

見えてきた 「4つの壁」

魅力を活かすために、解決すべき課題も浮き彫りになりました。



移動の壁：「駅に着いた後の交通手段がない」

インフラの壁：「散策路にトイレや駐車場が足りない」

認知の壁：「そもそも『栗東』が読めない」「市民も歴史を知らない」

消費の壁：「せっかく来てもらっても、お金を落とす場所(飲食・土産)がない」



カテゴリ

具体的な提案内容

- 「馬」のまち** 蹄鉄のお守り開発、引退馬と触れ合える場の創出、馬フンを肥料にする循環型農業。
- 体験・癒やし** 森遊館の入浴施設を核としたリフレッシュ空間、空き家を活用した古民家カフェ・休憩所。
- 情報発信** 若年層に響くTikTok・SNSの戦略的活用、難読地名を逆手に取った「ひらがな・アルファベット」作戦。
- 暮らし×観光** 観光をきっかけにした「定住」への導線づくり、図書館での飲食サービス導入。



広聴会では、「知られていない」「つながっていない」など、さまざまな率直な声が寄せられました。これらのご意見を大切に受け止め、議会として今後の議論につなげてまいります。栗東の宝物をどう活かしていくのか——引き続き丁寧に考えてまいります。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

特集担当 塩見・谷口

当日の詳細はこちらでご確認いただけます。



▲HP報告書



▲栗東かわら版(5:40)

1月臨時会・3月定例会

審議した議案・請願書など

件名		採択結果	件名		採択結果
人事	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (鎌田 容子氏)	可決・全	条例(部改正)	栗東市総合福祉保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (栗東市訪問介護事業所の廃止に伴う改正)	可決・全
	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (饗庭 敏夫氏)	可決・全		栗東市幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (こども誰でも通園制度の実施にあたり、利用料等を定めるための改正)	可決・全
条例	栗東市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について (こども誰でも通園制度が実施されることに伴い、事業にかかる運営基準を定めるための条例)	可決・全		栗東市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について (介護保険法施行令の一部改正により、令和8年度に限り新たに介護保険料を減免する者を追加するための改正)	可決・全
	栗東墓地公園条例の全部を改正する条例の制定について (栗東墓地公園について、合葬墓に関する項目を加えるための改正)	可決・全		栗東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について (非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が改正されたことに伴い、補償基礎額についての改正)	可決・全
	栗東市同和教育推進委員会設置条例を廃止する条例の制定について (委員会での意見や助言により充実した取り組みが定着しており、人権教育・啓発事業は人権尊重推進協議会にてされていることから、本委員会の設置目的を一定果たしたことに伴い条例を廃止するもの)	可決・全		栗東市道路線の廃止について (北中小路中小田中線)	可決・全
条例(部改正)	栗東市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について (公示送達の方法について、従来の掲示板への掲示だけでなく、不特定多数の者が閲覧できる状態によって行うための改正)	可決・全		栗東市道路線の変更について (手原駅新屋敷線、縷中ノ橋線)	可決・全
	栗東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (国民健康保険税率を改定)	可決・別表		栗東市道路線の認定について (北中小路宮田線、北中小路上小田中線、北中小路中小田中線、縷本覚寺西線、川南南ヶ平線、中沢街区4号線)	可決・全
	栗東市手数料徴収条例及び栗東市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について (電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部改正に伴い生じた番号ずれに対する改正)	可決・全		意見書	滋賀県における地域公共交通目的の新たな税導入に慎重な対応を求める意見書

令和7年度 一般会計・特別会計 補正予算(専決)

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第8号)	4,299万3千円(増額)	323億4,003万1千円	総務費の増額	可決・全

令和7年度 一般会計・特別会計 補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第9号)	3億8,936万7千円(増額)	327億2,939万8千円	民生費の増額	可決・全
一般会計(第10号)	3億3,524万2千円(減額)	323億9,415万6千円	土木費の減額等	可決・全
一般会計(第11号)	1億6,380万7千円(増額)	325億5,796万3千円	教育費の増額	可決・全
国民健康保険(第3号)	30万円(増額)	54億4,895万5千円	諸支出金の増額	可決・全
後期高齢者医療(第3号)	6,152万5千円(増額)	9億8,822万2千円	後期高齢者医療広域連合納付金の増額	可決・全
介護保険(第3号)	53万5千円(減額)	45億985万6千円	基金積立金の減額	可決・全
水道事業会計(第3号)	収入 8,040万3千円(減額)	17億1,572万7千円	企業債の減額等	可決・全
	支出 1億3,371万8千円(減額)	19億1,185万8千円	建設改良費の減額等	
下水道事業会計(第2号)	収入 1億6,713万9千円(減額)	24億7,615万7千円	企業債の減額等	可決・全
	支出 1億5,752万6千円(減額)	30億7,127万6千円	建設改良費の減額等	
農業集落排水事業(第2号)	507万1千円(減額)	3,617万3千円	農林水産業費の減額	可決・全

特集

定例会

委員会

代表質問

個人質問

議会トピックス

令和8年度 一般会計・特別会計 予算			
会計名	予算総額	前年度当初予算比較	採決結果
一般会計	323億9,400万円	13億7,500万円	可決・別表
土地取得	1億1,880万5千円	-102万4千円	可決・全
国民健康保険	56億6,594万円	3億3,941万1千円	可決・別表
後期高齢者医療	10億8,942万2千円	1億6,717万7千円	可決・別表
介護保険	46億45万9千円	1億9,337万9千円	可決・別表
墓地公園	477万1千円	-269万円	可決・全
大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業	2,474万9千円	-838万1千円	可決・全
水道事業会計	22億6,279万7千円	2億1,230万7千円	可決・全
公共下水道事業会計	34億7,043万1千円	2億4,363万3千円	可決・全
農業集落排水事業	2,762万6千円	-1,481万2千円	可決・全



◀ 令和8年度
当初予算の
概要
(市HPより)

令和8年度 一般会計・特別会計 補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第1号)	1億6,380万7千円(減額)	322億3,019万3千円	教育費の減額	可決・全

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多=賛成多数、少=賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件	会派名 議員名	賛成 の数	新政会							ネット ワーク		公明		共産	究理	未来	
			上田 忠博	三木 敏嗣	中野 光一	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石田 昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	武村 賞	櫻井 浩司
R O O M 算	一般会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	国民健康保険特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	介護保険特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
条例	栗東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の 制定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

*議長(里内英幸議員)は採決に加わらない

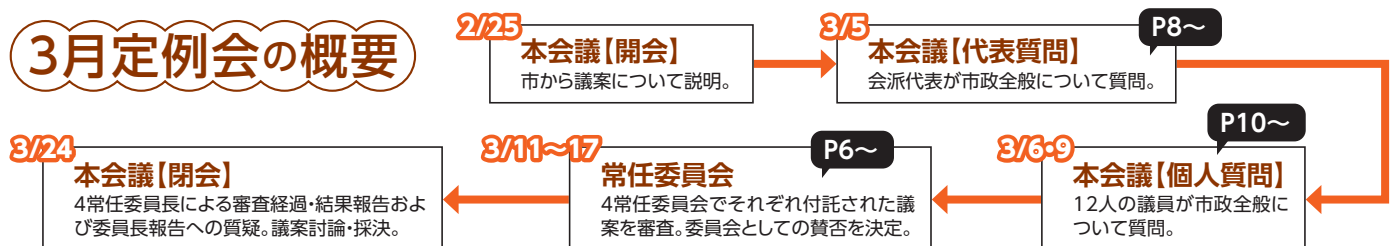
*会派名の正式名称は次の通り ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、公明(公明栗東)、共産(日本共産党栗東市議団)、究理(究理の会)、未来(未来創造りっとう)

3月議会では、意見書を1件可決し、滋賀県知事に提出しました。

意見書概要

滋賀県が実施を検討している「地域公共交通を支える新しい税」導入について、地域公共交通維持の課題意識には理解するが、社会情勢が厳しい状況で新税導入を前提としたこれまでのプロセスには大きな疑問が残る。この税は公共交通の利用頻度に関係なく県民一律に負担を求めるもので、受益と負担の関係が不明確であること、市町主体となる地域公共交通政策で県主導が強まることで、自治体の裁量が制限される恐れがあること、さらに既存財源の活用や事業の効率化等の検証が不十分で、税の恒久化や拡大解釈への懸念も指摘されている。こうした中、本市議会は、性急な新税導入ではなく、現行施策の精査や行財政改革を優先し、市町との協議および、県民への丁寧な説明を尽くすことを求める。

3月定例会の概要





※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます

常任委員会ピックアップ

～3月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～

特集

定例会

委員会

代表質問

個人質問

議会トピックス

どう使われるの？令和8年度予算

◆バス路線対策事業

利用者減の赤字路線バスに
継続補助

問 令和8年度のバス路線対策事業の補助金が令和7年度に比べ5050万5千円増額の8341万円となっているが、金額の詳細は。

答 コミュニティバスの車両をバス会社が購入し、そのリース料として48万2千円。また、バス運行補助金が7854万8千円。このうち、帝産バスへの補助金は2285万円。

◆就労支援対策事業

奨学金返済の補助金制度

問 奨学金等返還支援補助金制度について、令和8年度の夏ごろまでに制度設計を行い、開始することであるが、対象者は栗東市に就労される新卒者のみとなるのか。

答 対象者については、今後の制

度設計の中で具体的に決定していく。

◆担い手育成推進事業

中小規模の農業者に機械の
購入補助を新設

問 5反以上の農地を経営する農業者を対象に、機械購入費の20%（上限30万円）が補助されることであるが、予算がわずか120万円というのは、少々不足しているのではないか。

答 中小規模農業者機械購入補助制度は、県内でも比較的新しい取り組みであり、申請件数やニーズを把握する必要がある。まずは実証的に制度を運用し、補助金の申請状況を把握しながら、国費等の活用を含めて検討していく。

◆子ども子育て支援推進経費

移動式「赤ちゃんの駅」を導入

問 移動式赤ちゃんの駅用備品の内容や貸出場の想定は。

答 テントとオムツ交換台、授乳用の椅子、マット類などを一式として想定している。また、貸し出しについては、地域での運動会など屋外で行われるようなイベントを想定している。



◆シティプロモーション推進経費・市政功労者表彰事業

今年には市制施行25周年。式典と記念イベントはどのよう

問 広報大使報償費で16万円が広報大使へ支払われるが、残りの110万円が25周年イベントの登壇者への報償。具体的に

にどのような方で何人を想定しての金額か。

答 馬のまちをPRする内容のイベントとして、騎手と調教師、それぞれ1名ずつを想定している。

問 市制施行25周年記念式典と記念イベントは、別日の開催か。

答 同日の午前に式典、午後には記念イベントを予定している。場所は栗東芸術文化会館さきらを予定している。

◆栗東市国民健康保険特別会計

国民健康保険税が引き上げ

問 子ども子育て支援納付金は、目的外課税ではないのか。

答 新たに社会全体で子どもたちを支える制度として国が創設し、社会保険という枠組みの中で、平たく全世代から徴収するものである。



「**常任委員会**」
とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本会議の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

総務常任委員会

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○三木 敏嗣、○上石田 昌子、西田 聡、島田 利恵、奥村 明

**子ども子育て支援納付金分
(令和8年度) 税率**
※軽減額は省略

子ども・子育て支援納付金分	
所得割	0.27%
均等割	1,100円
18歳以上均等割	50円
平等割	700円

問 子ども・子育て支援納付金の市民への周知方法は。
答 税務課から発送する保険税の決定通知書にチラシを同封する。

(改正内容)
医療費の増加と、令和9年度から予定される県内統一の保険税率に備えるため、令和8年度は医療分の税率のみを引き上げ、できる限り負担増を抑える改正を行う。
併せて、子育て支援の財源となる「子ども・子育て支援納付金」を新たに設ける。

◆国民健康保険税条例の一部改正

「子ども・子育て支援納付金」を導入



◆消防団員等公務災害補償条例一部改正

(改正内容)
給与法改正に伴い消防団員の補償基礎額等を引き上げる。

問 該当する事例は過去にあったか。
答 公務中の事故により、障害年金を受給されたケースがある。

問 同和教育推進委員会設置条例廃止
答 委員会廃止後の対応は、人権教育、同和教育推進については、人権擁護審議会で審議する。

◆条例の全部改正

問 納骨数が約2000体であるが、上限に達するまでのペースは、どのように考えているのか。
答 他市の状況から、通年受付を行うと、早期に埋まってしまう可能性があるため、毎年の申込者数を制限し、段階的に運用する。

問 記名版が5万円というところだが、やや高い印象を受ける。価格設定した具体的な根拠は。
答 中国産の黒御影石を使用すると約3万円程度となる。今後の価格の変動等を含め、5万円に設定した。

問 季節によって湿度が高くなると、納骨室に水が浸入することも想定される。納骨室に水が溜まる恐れはないのか。
答 水が溜まることを防ぐため、納骨室の下部、四隅に排水の穴を設

栗東墓地公園に合葬墓地を設置

ける。また、納骨口横に換気口を設置し、湿害対策を講じる。

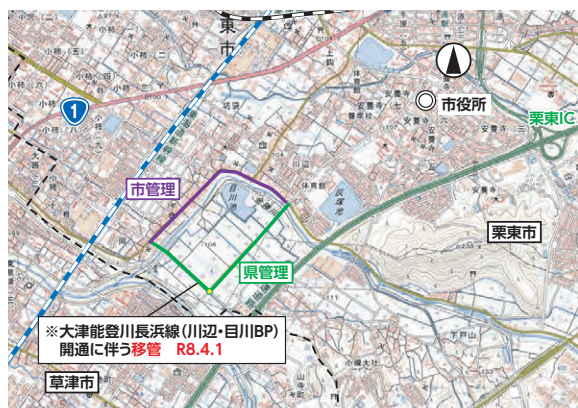
◆県道の整備に伴う旧道の移管

問 手原駅新屋敷線について、旧道が県から移管されることとなるが、移管を受けるにあたって、県が補修を行った箇所はあるのか。
答 現場確認を行い、側溝や舗装状態の悪い箇所等について、県が補修を行った。

環境建設常任委員会

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○武村 賞、○寺田 靖広、田村 隆光、川嶋 恵、梶原 美保

問 水が溜まることを防ぐため、納骨室の下部、四隅に排水の穴を設



▲移管場所

福祉・子育て関連4議案を 全会一致で可決

◆議案25号 訪問介護事業の終了に伴う条例改正

市の公的責任を終え、訪問介護事業を終了するもの。

問 終了に至る経緯は。

答 当初は事業所不足を補う必要があったが現在は解消されている。

問 民間事業所の経営状況把握については。

答 相談時に聞き取る。

◆議案26号 ことも誰でも通園制度に伴う条例改正

問 新規事業の利用見込みや周知方法については。

答 先行自治体では当初利用が少なくと確認している。周知方法は検討し、利用状況を見て園の拡大や時間延長も検討する。

問 受入人数は。

答 保育士2名体制で12名、4名体制を整えば17名まで可能である。



▲金勝こども園

◆議案27号 通園支援事業の基準条例の制定

問 議案26号との関連性については。

答 26号は市が行う場合の内容、27号は公立・法人園共通の基準である。公立園の手続きについては、認可は省略して確認手続きを行う。

◆議案28号 介護保険条例の一部改正

問 令和8年度に限る時限措置か。

答 令和8年度限りで、その後改正しなくても効力を失う。

代表質問

4会派から市長の施政方針、教育長の教育方針について質問しました。質問と答弁の要旨をお伝えします。

○は代表者 ●は質問者

○武村 賞 ●櫻井浩司

究 理 の 会

- 質問事項 ①旧和中散本舗の保存活用は ②防犯カメラの設置計画は
③待機児童の解消の対策は ④中小規模農業者への支援策は



▲旧和中散本舗



① 史跡旧和中散本舗では、木製製薬機を残す店舗などの建物が国重要文化財に、庭園は国の名勝に指定されている。令和5年から令和7年度の3か年で保存活用計画が策定された。今後の管理運営計画を示されたい。

② 本市は県内で刑法犯認知を含めた総合的な管理運営計画を3月議会に示す。本市は県内で刑法犯認知件数が最も低い治安の良い地域であるが、犯罪防止効果を高めるために、今後も防犯カメラを計画的に設置されたいがいかがか。

③ 喫緊の課題である待機児童解消の具体策は。

答 大宝こども園の低年齢児受け入れや新規法人園の令和8年4月開園、お仕事フェアなどによる保育士確保に努める。

④ 中小規模農業者への農業用機械購入の具休策は。

答 農業用機械購入の支援は、5反以上経営の農業者へ機械購入費の20%の額で、30万円を上限に補助する。

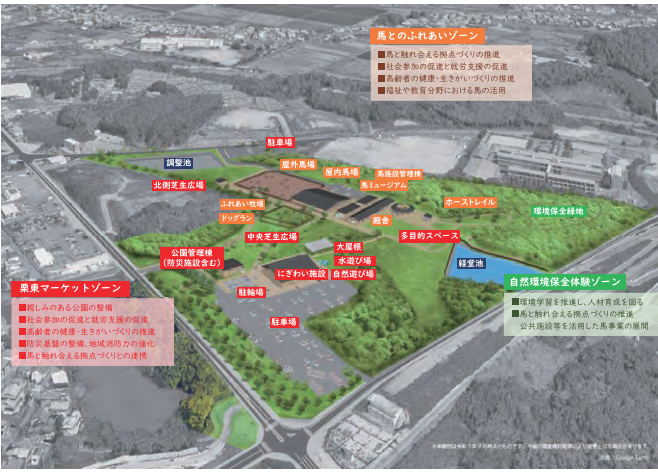
○は代表者 ●は質問者

○川嶋 恵 ●塩見 隆

公 明 栗 東

質問事項

- ①市長就任時の公約
- ②経済活動が活発で、多様な就労環境があるまちへ
- ③多様性を認め合い、快適で安全に暮らし続けられるまちへ



▲栗東健康運動公園(栗東ホースパーク)

園遊池、駐車場、屋外馬場、屋内馬場、馬場管理棟、馬ミュージアム、ポストイレ、環境保全緑地、中央芝生広場、大屋根水遊び場、にぎわい施設、自然遊び場、駐車場、公園管理棟(防災施設含む)

●馬と触れ合える拠点づくりの推進
●社会参加の促進と職労支援の促進
●高齢者の健康・生きがいづくりの推進
●福祉や教育分野における馬の活用

●遊び心のある公園の整備
●社会参加の促進と職労支援の促進
●高齢者の健康・生きがいづくりの推進
●防災施設の整備、地域防災力の強化
●馬と触れ合える拠点づくりの推進

① 3年3ヶ月の具体的実施状況と主な成果は。
 答 9つの施策で評価項目49項目について評価し、実施済み31項目、実施予定12項目、検討中2項目、未着手4項目となる。主なものは栗東ホースパークの整備(着手中)、ふたご・みつこの出産就学支援、歯科疾患予防、国スポ・障スポを契機に開催しているゴルフのジュニア教室の実施など。

② 土地のポテンシャル向

上とは具体的に。「トップセールス」の重点対象はどのような分野・業種に働きかけるのか。
 答 交通の要衝という地理的特性を踏まえ、産業振興などのまちの活力や賑わいの創出が必要だと考えており、秩序ある土地利用の方向性を示していきたいと考える。

③ 男女共同参画の推進について取り組みは。
 答 取り組みの進捗を可視化するため、第6版プランでは28項目の数値目標を設定し、今年度から実績を点数評価している。策定中の第7版プランでも指標や取り組みを定め、毎年度の進捗管理と目標達成を目指す。市職員研修や事業所訪問を通じて推進を図っている。

○は代表者 ●は質問者

○三木敏嗣 ●奥村 明 上田忠博 中野光一 里内英幸
梶原美保 西田 聡 寺田靖広

新 政 会

質問事項

- ①中小規模農業者への農業用機械購入に対して支援
- ②小学校体育館への空調設備設置
- ③金勝山周辺施設のあり方
- ④架け橋期プログラムの取り組みは



① 中小規模農業者への農業用機械購入に対して、支援をすることは先進的な取り組みと考えられるが。
 答 物価高騰により農業用機械の買い替えが負担となっているため、機械購入費用の一部を補助していく。

② 小学校体育館空調整備は、迅速に事業を進められ期待しているが、工程や避難所としての機能向上の具体的効果は。
 答 令和8年度より工事実施設計に着手し、令和9年度内に運用開始ができるように進めていく。

③ 金勝山周辺施設については、民間との連携を目指し、施設の活用や幅広い事業展開を実施できる仕組みづくりを進めるとのことだが。
 答 土地・建物の権利関係において、道の駅は県、バンガロー村は地元生産組合より借地をしているため、民間事業者の参入時には支障がないよう地権者と調整を図っていく。

④ 令和7年度より「架け橋期プログラム」に取り組みされているが、令和7年度の取り組みの効果は。また令和8年度の取り組みは。
 答 令和7年度はモデル校を設定し、架け橋期のカリキュラムシートを完成。令和8年度は、全ての小学校区においてカリキュラムシートの完成を目指す。

※架け橋期プログラムとは、幼児期から小学校への学びをつなぎ、子どもが安心して入学できるように支える教育の取り組み。



質問事項 ①ホースパークのリスク負担 ②教職員の働き方改革と財源

① ホースパークの整備については、民間事業者の参入を前提に検討が進められているが、事業採算が悪化した場合や事業者が撤退した場合、市の財政負担が生じる可能性がある。指定管理料の総額見込みや、事業者撤退時に想定される費用などについて、市としてどのように試算し、リスク管理を行うのか。

答 指定管理料の総額見込みは、来年度予定している公募等設置指針策定支援業務の中で改めて算出し、公募条件を整理した上で、令和9年度を目途に示す予定。事業者撤退時の費用についても、今後必要な費用水準を整理していく。

② 現在の働き方改革は、単なる労務管理なのか、教育の質を高める「再設計」なのか。人的配置や外部人材は単年度配置ではなく、将来の基金減少局面においても持続可能か。

答 働き方改革は労務管理ではなく、本来の職務である「子どもと関わり合う」時間を有効に活用し、子どもたちに効果的な質の高い教育を行うものである。加配や支援員などは単年度配置ではあるが、組織として課題に取り組み「チーム学校」の不可欠な構成員と位置づけており、市町の財政力に左右されることなく今後も持続可能な仕組みとして位置づけられるよう国・県に働きかけていく。



▲市広報7月号より抜粋

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

～3月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

問…議員の質問
答…市からの回答
意…議員の意見

ページ	質問者	質問事項
11	谷口 律香	「思い」を「形」にする協働の仕組みと拠点のあり方について
11	塩見 隆	1 小中学校における減塩・糖分摂取抑制の食育について 2 介護保険住宅改修費の受領委任払いについて 3 日常生活用具の給付について
11	田村 隆光	こんぜの山の施設をどうする？ 市民の財産と未来を考える
12	三木 敏嗣	金勝山周辺施設の今後のあり方について
12	寺田 靖広	1 企業版ふるさと納税について 2 選挙投票率の向上について
12	櫻井 浩司	栗東健康運動公園の進捗状況について
13	上石田 昌子	自治会館用地の貸付料算定の考え方について
13	青木 千尋	誰もが安心して医療機関に受診、治療ができるように
13	島田 利恵	若者定着の導線設計と奨学金返還支援制度の具体化について
14	中野 光一	子どもの未来を拓く「学校図書館」のありかたについて
14	西田 聡	デジタル教科書は主役になるか
14	上田 忠博	財政力と基金のあり方について

個人質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて市に考えを聞きます。議長・副議長・監査委員は原則個人質問を行いません。

議会動画 配信中！

各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込んで、その議員の個人質問の全体映像をYouTubeでご覧いただけます。



栗東市議会 YouTube

分野別アイコン 各記事に記載

気になる分野をチェック！

暮らし		安全・安心	
子育て・教育		まちづくり	
健康・福祉		その他	



市民の思いを“行動”につなぐ仕組みづくりを

谷口 律香 議員



問 市民の「地域のために関わりた
い」という思いと、協働事業や市民
活動につながる仕組みが十分とは言えな
い。市民が気軽にアイデアを出し合い、仲
間や市職員と出会える「協働の入口」を設
ける考えはないか。

答 気軽につながり合える機会を増
やすことを検討する。

問 助成事業採択後の団体への伴走
体制を具体化し、実務負担を軽減す
る支援を発展させる考えはないか。

答 助成団体の活動の幅が広がるこ
とは大切であり、支援方を検討す
る。

問 団体からは、担当が変わるたび関
係性や経緯の共有が難しいとの声
がある。専門的コーディネーターを配置
する考えはあるか。

答 全ての職員が協働を意識して業
務を進めることが重要であり、職員
研修を実施している。配置については、市
民や団体のニーズを見ながら研究・検討
する。

問 ボランティア市民活動センター
の移転に伴い、一部の市民活動の継
続が難しくなるこの声
がある。活動継続に向
けた支援策は。

答 ボランティア
団体の負担が可
能な限り軽減されるよ
う、「ひだまりの家」の
活用について社会福祉
協議会に提案している。



市民の「やってみたい」をカタチに
対話と相互支援でつくる未来
協働の入口
つなぐから、ほじめる



小中学校における減塩・減糖の食育

塩見 隆 議員



問 小中学校における減塩・減糖の食
育は、将来における生活習慣病のり
スク低減・健康寿命の延伸や医療費抑制
につながる重要な投資であると考え
る。どの程度体系的に指導しているか。

答 小学・高学
年では、保健
体育科の授業にお
いて適切な塩分摂
取と病気を防ぐ習
慣や抵抗力、内臓
の働きなどについ
て学び、中学校では、家庭科、保健体育科
の授業において、塩分摂取と食事の質や
量、生活習慣病との関係を学ぶ。給食時の
放送で全校に周知したり、食育だよりで
家庭内での減塩や糖分抑制を呼びかけて
いる。



2月27日の小学校給食
献立内容
ごはん・牛乳・さいのものがらめ
なめたけ和え・親子どんぶりの具

問 『世帯全員が市民税非課税』とい
う条件を撤廃し、世帯の課税状況に
関わらず、「償還払い」と「受領委任払い」
のいずれかを選択できる制度とし、一時
的であっても市民の経済的負担を軽減で
きる制度とすべきと考える。市の見解は。

答 居宅介護支援専門員などへの周
知を行い、来年度早期の導入を目指
す。

問 日常生活用具の給付
申請から承認、給付までに数か月
を要している。その原因は。

答 新規利用で県の身体障害者手帳
の交付申請から決定に3〜4か月
必要で、近隣市町とも足並みを揃えるな
ども配慮し市民の負担が少しでも軽減
されるよう取り組む。



金勝の山の施設をどうする？ 市民の財産と未来を考える

田村 隆光 議員



問 金勝の山の4施設を老朽化と修
繕・維持費用負担、利用率の低下な
どを理由に廃止、指定管理、民間への無償
譲渡など対応が検討されている。調査結
果でも存続の声がある中、この政策判断
に至った経過と根拠を示されたい。

答 令和4年から令和6年にかけて
実施した市民アンケートや地元
の関係者、民間事業者へのサウンディング
などの結果を議会に説明するとともに、
庁内にて比較検討し、栗東市金勝山周辺
施設のあり方検討報告書にまとめ意思決
定を諮り改めて議会に説明した。

問 この道の駅は、信楽や大津方面か
らの山岳観光の結節点でもあり、ハ
イカーやサイクリストも多い。また、山林
事故等に対する防災拠点としての機能を
持っている。最悪、民間譲渡が叶わなかつ
た場合、この施設は廃止、解体される予定
だが他に選択肢はないのか。

答 廃止一択ではないが、公金を投入
しているが赤字なのも事実である。
山の施設全体にはポテンシャルもあるの
で民間活力によって活性化できないか第
二期栗東市観光振興戦略に位置付けて取
り組んでいる。まずは調査をした上で、今
後、道の駅の在り方について検討してい
く。





金勝山周辺施設の今後のあり方

三木 敏嗣 議員



問 「道の駅こんぜの里りっとう」は、豊かな自然環境の中にあり地元特産の販売や観光案内機能としての施設である。観光振興戦略では金勝山周辺を「交流・憩い・レクリエーション拠点」として位置付けている点との整合性が問われるが、戦略上の拠点機能廃止についての考えを問う。

答 第二期栗東市観光振興戦略の重点戦略に掲げる、観光資源の利活用と整合し、栗東市全体の観光戦略に沿うものである。

問 公的機能を廃止するに至った根拠と今後の対応方針を問う。

答 第二期栗東市観光振興戦略により観光拠点として位置づけ、更なる山の施設を活性化させる手段として、公的機能を廃止し、民間参入の方向性を判断した。

民間参入は、3月～4月にかけて提案を受け、サウンディングを実施する。意向表明は7月中旬に公募予定。現状市の支出によって施設を支えている。公の機能を担保し、民間活力を活用し、活性化できるように、情報収集を進める。

意 指定管理料の投入は、単なる採算性の問題ではなく、地域コミュニティの維持という観点から意義がある。



▲道の駅こんぜの里りっとう



企業版ふるさと納税

寺田 靖広 議員



問 どのように企業版ふるさと納税を募っているのか。

答 市のホームページとマッチング事業者が市を企業に紹介する方法。

問 寄付企業に対して、どのような共創の場を設けているのか。

答 寄贈式や市長と寄附企業との懇談の機会を設け、本市の現状や課題を伝え、企業側から寄附や本市に対する思いを伺う。

問 これまでに企業から栗東市に対する思いを聞き市の施策に活かされた例は。

答 保育所等のトイレの洋式化や教育用品(ポッチャ)の購入、西図書館内に学習コーナー「学BASE(まなベース)」の設置。



▲学BASE

選挙投票率を向上させよう

問 先の衆議院選挙において、投票率向上のためにどのような取り組みをしたのか。

答 全世帯へのチラシ配布等により、選挙期日の周知を行った。

問 今後の選挙において、投票率向上のための取り組みを検討していくのか。

答 主権者教育を実施するとともに、各選挙における投票傾向の分析を行い、投票率向上のための取り組みを検討していく。

問 全国の自治体で投票済証の活用が増えている。栗東市でも投票済証の活用を検討するのか。

答 新たな投票済証の導入を前向きに検討していく。



栗東健康運動公園の進捗

櫻井 浩司 議員



問 経堂ヶ池の予算を増額してまで取得する根拠は。

答 農業用水としての利用見込みが無くなくなったとの地元自治会からの申し出もあり、広場機能の拡充を求める栗東健康運動公園整備懇談会での意見を踏まえ用地の公有化を図ったうえで一部を埋め立て、広場を拡充する整備計画に変更したものの。

問 市広報では市民の方から「乗馬クラブができるの？」という問いに「馬を飼育するにはお金がかかるので、乗馬クラブも可能性の一つ」と答えているが、市はお金がかかる事業を乗馬クラブ以外にも実現できると考えているのか。

答 これまでのマーケットサウンディング調査で事業者から乗馬クラブに限らず、様々な事業の提案を受けている。事業者の収益事業が乗馬クラブであるか否かという点よりも、ふれあい事業を始めとする公益的な事業への取り組みに対し、どの程度貢献いただけるかを重視すべきと考えている。

問 市広報では市民の方から「お馬さんは臭くないの？」との質問については、「お世話する人が洗ってあげるから臭くない」と答えています。糞尿の匂いについてはどう考えているのか。

答 今後参入される事業者と協議・調整を行い糞尿の処理や衛生管理などの徹底を求め環境の確保に努める。



▲栗東健康運動公園 平面図



自治会館用地の貸付料算定の考え方



上石田 昌子 議員



- 問** 自治会は、防災・環境美化・地域福祉等において行政を補完する重要な主体であり、その活動拠点である自治会館は公共的役割を担う施設でもある。こうした公益性を有する施設用地に対し、市場価格を基準とする算定方式を適用することについて、公益性との均衡をどのように整理しているのか。
- 答** 普通財産貸付料算定にかかる取扱要綱に基づき算出しており、公益性との均衡は取れていると認識している。
- 問** 地域自治の持続性という観点から、算定基準の見直しや減免制度のあり方について検討の余地はあるのか。
- 答** 加入率の低下など自治会運営が厳しくなる中で、減免制度に限らず、様々な要望が寄せられていることから、他の要望等と同様に検討していく必要がある。
- 問** 市は、異なる条件下にある126自治会の土地所有形態や建物名義、借地の有無などの実態を、体系的に把握しているのか。
- 答** 土地建物の所有状況の詳細や借地借家の負担状況までは把握していない。
- 問** 条例4条の趣旨に照らし、自治会館のみならず、ゴミ集積場や防災倉庫等の用地確保に対し、制度的支援を検討する考えを伺う。
- 答** 自治会館等の施設維持は自治会活動を継続する上で必要であり、庁内で設置している検討会議にて協議していく。



誰もが安心して医療機関に受診、治療ができるように



青木 千尋 議員



- 問** 国民健康保険税の滞納世帯は令和6年12月2日(マイナ保険証に移行)以降、受診時に一旦、医療費を10割分支払いその後、市から保険給付分の特別療養費の支払いを受けるようになっていく。しかし、困窮世帯にとって医療機関での窓口での10割負担は過酷で、受診が困難になっているのが実情である。日本共産党の国会議員が国会で「国民健康保険被保険者の必要な医療の確保」について国会で質問した。国は「滞納世帯が受診の必要があり、かつ一時払いが困難」と申し入れた場合は、「特別な事情に準ずる状況」であるとし、緊急な対応として療養の給付を行うことになると答弁している。
- 問** この件について現在の市の対応は。
- 答** 医療費の一時払いが困難な旨の申し出があった時、特別な事情に該当する場合は「特別な事情に関する届」を提出するよう通知している。
- 問** 医療費の一時払いが困難との申し出があったかどうか。
- 答** 申し出を受け付けたことはない。
- 問** 「特別な事情に関する届」が提出された場合の対応は。
- 答** 病気や災害など「特別な事情」に該当するかどうか聞き取り、必要に応じて負担割合10割の「資格確認書」から3割の「資格確認書」へ戻す取り扱いとしている。



▲資格確認書(見本)



若者が戻る理由、栗東にありますか



島田 利恵 議員



若者が帰りたくなるまちへ

若者が地域を離れる

高校卒業
↓
市外進学
↓
市外就職
↓
地域とのつながりが弱くなる

議会で提案

若者が戻る理由を地域につくれないか?

- ・インターン
- ・地域プロジェクト
- ・地域参画
- ・奨学金返還支援

若者と地域の接点をつくる

市の答え

奨学金返還支援制度実証事業として開始

創生本部会議で庁内連携して検討
若者政策として広げていく

目指す未来

若者が戻る理由を地域につくる

仕事 地域
つながり 成長

人がいるから まちはある

▲3月定例会の個人質問と答弁を、市民の皆様にはわかりやすく整理したグラフィックです。(自作)

- 問** 奨学金返還支援制度の開始を契機に情報を継続的に届ける仕組みを作っているかどうか。
- 答** まち・ひと・しごと創生本部会議にて具体的な施策設計の検討を部局横断的組織として進めたい。
- 問** 若者政策はまちの将来を左右する重要なテーマであると考え、市長の見解を伺う。
- 答** 関係人口創出の制度設計に着手し若者定着策を検討する。
- 意** 市民・行政・議会がともに考え、取り組んでいくことを期待する。



国家百年の計「栗東の学校で学んでよかった!」と言ってほしい

中野 光一 議員



▲小学校 図書室

問 全国学力・学習状況調査の結果から、本市の記述式問題や活用力の課題が浮き彫りとなっている。その基盤となる読解力を養うため、学校図書館の活性化が不可欠です。現在の司書1人が4校を掛け持つ巡回方式では機能不全に陥っている。民間委託の活用による全校常駐化や、保護者への「親子貸出」といった地域開放を進めるべきではないか。

答 学校司書の配置充実や常駐化は財源に障壁があるが、不登校支援等の観点から福祉等との連携による予算確保も選択肢の一つとして検討する。民間委託は質の担保に課題もあるが、他市の事例を参考に今後検討する。地域開放については、コミュニティ・スクールと連携し、地域住民が図書館サポーターとして関わる形での開放を栗東中学校に提案する。親子貸出は、安全面に配慮し「スポット実施」も各校に提案を促していく。

意 義務教育は自治体の責任であり、子どもたちの「学び力」の向上に向け、読書環境の整備は重要な教育投資である。令和8年度からの早期実施と抜本的な体制見直しを強く求める。



デジタル教科書は主役になるか

西田 聡 議員



▲デジタル教科書を映し出す電子黒板

問 デジタル教科書の正式な教科書化についての見解は。

答 次期学習指導要領改訂に向けた国の制度化の動向を注視し環境整備に努めていく。

問 2030年度の正式な教科書化でデジタル教科書も無償配布となるのか。

答 現時点では無償化の方向性であると示されている。

問 小中学校のデジタル教科書の授業での活用度合いは。

答 学校によって違いはあるものの、平均で、小学校の外国語科では78%程度、算数科では75%程度活用している。また、中学校の英語科では、58%程度、数学科では25%程度活用している。

問 デジタル教科書導入におけるメリットとデメリットは。

答 視覚的な理解の促進、習熟度に応じた最適な学習支援の実現、合理的配慮が必要な児童生徒への細やかな対応ができる。しかし、長時間使用に伴う視力低下などの健康面への影響が懸念される。

意 一覧性や思考の深化に優れた紙と、音声や動画、合理的配慮に長けたデジタルの特徴を、学習場面に応じて使い分けることが重要である。



財政力と基金のあり方

上田 忠博 議員



問 新幹線新駅中止が財政に与えた影響をどう総括し、財政運営をどう見直したのか。

答 基金減少や土地開発公社の資金ショートなどの財政リスクが生じたため、二度の財政改革を実施し、基金残高の回復や第三セクター改革推進債の発行など財政健全化に取り組んできた。

問 現在の財政状況で歳入の伸びが歳出増に追いつかない構造的収支不均衡への認識と財政力の見解は。

答 人件費・扶助費・物価高騰など歳入増が続き、税収の伸びが追いつかない状況が今後も続く見込みである。普通交付税措置の継続を見込んでいく。

問 第九次行政改革大綱の「スクラップ&ビルド」の財政力強化、負担軽減の見通し、財政効果の数値設定は。

答 事務事業の見直しや自主財源確保に取り組むが、財政効果の数値目標は設定していない。

問 令和8年度当初予算において財政調整基金・減債基金の繰入額の妥当性と基金の適正規模、今後の積立見込みは。

答 中長期財政見通しの財源不足額と近似しており妥当と判断。標準財政規模比12.74%以上を短期目標とし、年度末の実質収支を踏まえ積立を行う。

問 将来、減債基金が0となる見直しへの対応は。

答 まずは財政運営基本方針で掲げる基金比率の維持を優先し、安定的な財政運営を図る。





アンケートにご協力ありがとうございました。

2月に実施しました議会だよりアンケートに350件の回答をいただきました。

アンケートを受けて議会広報編集特別委員会で話し合いを重ね、議会と市民をつなぐ広報紙としてより多くの方々に親しんでいただけるよう、今後も取り組みを進めていきます。



詳細な
アンケート結果は
こちら



議会だよりに関していただいた主なご意見

- 各議員の人柄や日頃の活動、議員になったきっかけについて知りたい
- 住んでいる地域の取り組みについて知りたい
- 議員一人一人の「目指すべき栗東市」について具体的に聞きたい
- 各議員がどのような理由で議決の賛否したか知りたい
- 写真も多く、カラーでわかりやすい

議長・副議長の
投稿コーナーを設置

**正副議長の
つぶやき**

さらに少しでも開かれた、身近な議会になりますように、日ごろの出来事や、思いをつぶやいてみました。

幼保卒園、小中卒業式の季節。それぞれが旅立ちの季節。

最近涙腺が緩くなったせいか、気が付くと涙が出てきます。

晴れやかな姿に、「未来の子どもたちのために」と、使命感を改めて感じた時間でした。(里内議長)



3月18日 治田幼稚園にて▶

三月は卒業の季節。こども園や小中学校の卒業式に毎年参列しています。未来へ歩み出す子どもたちの姿に触れるたび、次の世代の未来を守る責任が私たち大人にあることを改めて感じます。社会情勢が不安定な今だからこそ、この子どもたちの未来が平和で幸せである社会であり続けるよう、その思いを胸に参列しています。

(川嶋副議長)



3月19日 葉山小学校にて▶

議会トピックス

栗東市防災総合訓練に参加しました

2月1日に実施された栗東市防災総合訓練を「栗東市議会災害対応とBCP」に基づく議会の防災訓練の一環として議員も参加しました。

本訓練は南海トラフ巨大地震を想定し、「自助・共助・公助」をテーマに防災体制の強化を目指した訓練です。具体的な訓練内容として、避難所運営の模擬訓練(共助)、災害対策本部運営訓練(公助)、救命訓練(共助)が行われました。また、地震時の安全確保行動(姿勢を低く保つ、頭を守る、動かない)や避難経路確認、マイ・タイムラインの作成などを通じて、各家庭で防災を考える機会(自助)となりました。



▲市消防団との救命訓練の様子

議会改革特別委員会

議会改革推進部会

議員間討議について研修を実施しました。

1月27日大津市議会局の職員を講師に招き、議員間討議の導入・運営に向け、先進的に取り組まれている運用事例を学び、本市議会における今後の議員間討議の運用を検討するうえで参考することを目的として実施しました。

今回の研修を通じて議会主導の政策形成を進めるうえで必要な体制などの学びを得ました。特に、政策検討会議を制度として位置づけ、会派を超えて対等に議論を行う仕組みや、条例制定を原則として同会議で行う明確なルールは、議会の主体性を高めるうえで大きな意義を持つと感じました。また、専門性を備えた事務局体制の整備や、議論の成果を市民へ積極的に発信する姿勢は、議会への信頼向上にも繋がっていると感じられました。栗東市議会においても、今回得られた知見を参考に、議員間討議の運用の具体化に向けた検討を進め、より開かれた政策形成の構築を目指していければと考えています。



議会改革特別委員会

DX推進部会

議会DXについて研修を実施しました。

2月13日に議会DX推進の核となる部会員対象として、「議会DX～先進市の議会(議員)活動から学ぶ～」と題して講話をいただきました。ICT機器を効果的に活用し、日々の議会(議員)活動の効率化を図っておられる実状を聞かせていただき、大変有意義な時間となりました。

PC(タブレット端末)で
業務効率化!!



傍聴にお越しく下さい

- 本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。
- 開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- 日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- 手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

● 問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146 ✉ :gikai@city.ritto.lg.jp

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶



5月臨時会の予定 (土・日・祝は除く)

5月29日	本会議 (議長選挙等)
-------	-------------

6月定例会の予定 (土・日・祝は除く)

6月11日	本会議 (議案上程等)
6月22日～24日	本会議 (個人質問)
25日・29日	各常任委員会
7月 2日	本会議 (委員長報告・採決)

編集後記

議会だよりの編集に携わり1年が過ぎました。先般実施した市民アンケートで寄せられた貴重なご意見を参考にしながら、市民皆さんに「もっと身近で開かれた議会」をめざします。今後も、ホットでタイムリーな「議会の今」をお伝えしていきます。(西田)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 寺田 靖広 (副委員長) 奥村 明
(委員) 田村 隆光 / 西田 聡 / 塩見 隆 / 谷口 律香

● 表紙写真 市民の声をまちづくりへ

ホームページで全ページがフルカラーの議会だよりに(PDF版)をお楽しみいただけます。



栗東市議会ホームページ▲

